

# 肺がん早期発見の重要性

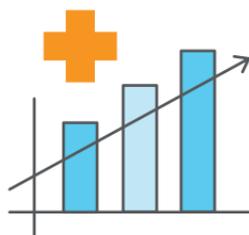


近年、低線量CTスキャン (LDCT) として知られている検査の研究が、肺がんのリスクが高い人々に対して行われてきました。LDCTスキャンは、肺の中のがんの可能性のある異常所見を見つけるのに役立ちます。研究により、LDCTスキャンを使用して肺がんのリスクが高い人をスクリーニングすると、胸部X線と比較してより多くの命が救われることが明らかになりました。よりリスクの高い人は、症状が始まる前に毎年LDCTスキャンを受けることで、肺がんで死亡するリスクを低下させることができます。

## なぜ高リスク患者にスクリーニングを勧めなければならないのですか？

高リスク患者の肺がんスクリーニングによって、治療効果が高まります。

- 多くの場合、肺がんが早期に検出されることはありません。初期段階で診断されるのは患者全体の16%にしかすぎません。
- 早期に発見された場合、5年生存率は4% (ステージ4) から55% (ステージ1) が増えます (世界レベル)。



## 患者を支援する方法とは？

1. スクリーニングの利点とリスク、受診に関する疑問について話し合う。
2. 近くのスクリーニング施設を特定する。
3. 自分の医療機関にスクリーニング体制の設置を働きかける。
4. 患者が喫煙歴やその他のリスク要因について全て開示するように促す。
5. 喫煙患者に禁煙するようにアドバイスし、禁煙を続けるためのリソースを提供する。
6. 禁煙したり、喫煙量を減らした患者をほめて、継続するように促す。



---

## 次のステップは？

- 最新のスクリーニング基準に関して、常に最新情報を入手する。
- スクリーニングは現在、喫煙歴が長かったり、喫煙量が多い人のみ対象ですが、家族歴、化学物質（ラドン、アスベストなど）の被ばく、間接喫煙も考慮する必要があるかもしれないことを理解する。
- 必要に応じて患者とスクリーニングについて話し合う。
- 現時点でスクリーニング対象でない場合、肺がんのリスクについて話し合う。
- 禁煙は、どの時点においても患者の健康に良いということを忘れないでください。



肺がん啓発月間連合 (The Lung Cancer Awareness Month Coalitio, LCAMC) はこの分野の優れた国際研究啓発団体です。さらなるリソースについては [LCAM.org](https://www.lcam.org) を参照ください。